

7月6日(金) 同窓会総会開催

座談会 今蘇る! 昭和48年夏の甲子園準優勝

静中・静高 関東同窓会 会報

平成24年度 関東同窓会・懇親会を開催します

あの甲子園準優勝メンバー6人が登壇!
「甲子園秘話」「人生における甲子園」を熱く語ります!

記

日時 七月六日(金) 午後六時より

場所 日本プレスセンタービル10階

日本記者クラブ 大ホール

東京都千代田区内幸町一丁目一

電話 03-3580-1158 1

懇親会費 四〇〇〇円(但し学生は一〇〇〇円)

年会費の三〇〇〇円は当日受付も致します
がこの会報に同封の振込用紙によりご納入をお願い致します。

登壇予定者 野島謙監督、野田真一主将、植松

精一選手、水野彰夫選手、白鳥重治選手、

森内吉男選手

静中・静高関東同窓会
会報 第73号
平成24年6月5日発行
編集人代行 八牧浩行
(82期)



同封のハガキに五十円切手を貼って、出欠の
いずれかを、また近況などを記入して六月三〇
日までに投函してください。ファクシミリでの
出欠も受け付けます。ファクシミリの送付先は、
03-(3257)0820 関東同窓会事務局
です。

3頁に48年甲子園準優勝特集



講演 座談会
今蘇る 昭和四十八年夏の甲子園準優勝
～あの時、そして未来～

式次第
同窓会総会 議題
一号議案 平成二十三年度事業報告、会計報告
二号議案 平成二十四年度事業計画、予算計画
野球部事情、今年の県大会展望等々、話題には
こと欠きません。静中・静高野球のすべてを映
像や、写真などを駆使してお見せします。皆さ
まからの質問の時間も設ける予定です。

ソード、甲子園その他で対戦した江川卓選手
(作新学院・元巨人) や土屋選手(跳子商・元

90期からあの昭和四十八年準優勝メンバー5人と野島監督が登壇します。今だから言えるエピソード、甲子園その他で対戦した江川卓選手(作新学院・元巨人) や土屋選手(跳子商・元中日) の思い出、50代半ばになった準優勝メンバーたちの人生に於ける甲子園の意味、最近の野球部事情、今年の県大会展望等々、話題には

こと欠きません。静中・静高野球のすべてを映

像や、写真などを駆使してお見せします。皆さ

まからの質問の時間も設ける予定です。

JR新橋駅 東京メトロ千代田線・日比谷線 霞ヶ関駅 C4
東京メトロ丸ノ内線 霞ヶ関駅 B2
都営三田線 内幸町駅 A7
JR新橋駅 日比谷口(S)広場側)

会場 日本記者クラブ 大ホール
日本プレスセンタービル10階
〒102-0075 東京都千代田区内幸町一丁目一
電話:03-(3500)2721
FAX:03-(359)66333

平成23年度 収支決算報告書

自平成23年4月1日～至平成24年3月31日

静中・静高関東同窓会

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
年 会 費	2,190,000	1,576,000	△ 614,000	コンビニ264、〒192、現金72 合計528
総会・懇親会費	600,000	569,000	△ 31,000	会員142名、学生1名
会 報 広 告 料	350,000	240,000	△ 110,000	
本 部 助 成 金	800,000	800,000	0	
受 取 利 息 等	30,000	46,967	16,967	祝儀3万、125年史9千円、利息等
計	3,970,000	3,231,967	△ 738,033	
前 年 度 繰 越 金	3,814,131	3,814,131	0	
合 計	7,784,131	7,046,098	△ 738,033	

(支出の部)

総 会 費	1,250,000	1,024,972	△ 225,028	
準備費会場費等	400,000	72,048	△ 327,952	講師へ謝礼金5万
懇 親 会 費	850,000	952,924	102,924	会員142、来賓3、講師1、学生1名
会 報 発 行 費	1,550,000	1,531,600	△ 18,400	
印 刷 費	600,000	633,880	33,880	
発 送 費	750,000	710,120	△ 39,880	
編 集 費	200,000	187,600	△ 12,400	
役員理事会費等	450,000	350,593	△ 99,407	
旅 費 ・ 交 通 費	50,000	36,400	△ 13,600	
銀行郵便局振込費	30,000	24,835	△ 5,165	
コンビニ振込費等	280,000	141,337	△ 138,663	接続料76,586、請求用紙、トナー代
事 務 費 ・ 雜 費	260,000	283,248	23,248	本部ペーティ券24,000円、中部支部費
通 信 費	50,000	42,507	△ 7,493	ホームページ立上げ費13,966円
慶弔費	0	0	0	
予 備 費	50,000	10,000	△ 40,000	活動助成金10,000円
計	3,970,000	3,445,492	△ 524,508	
次 期 繰 越 金	3,814,131	3,600,606	△ 213,525	
合 計	7,784,131	7,046,098	△ 738,033	

※88期89期有志の方々から7,600円の協賛ありました(受取利息等に計上)。

平成24年度 収支予算書(案)

自平成24年4月1日～至平成25年3月31日

静中・静高関東同窓会

(収入の部)

科 目	予 算 額	前年度決算額	増 減	摘 要
年 会 費	1,800,000	1,576,000	224,000	600名
総会・懇親会費	600,000	569,000	31,000	150名
会 報 広 告 料	340,000	240,000	100,000	
本 部 助 成 金	800,000	800,000	0	
受 取 利 息 等	30,000	46,967	△ 16,967	
計	3,570,000	3,231,967	338,033	
前 年 度 繰 越 金	3,600,606	3,814,131	△ 213,525	
合 計	7,170,606	7,046,098	124,508	

(支出の部)

総 会 費	1,250,000	1,024,972	225,028	
準備費会場費等	200,000	72,048	127,952	
懇 親 会 費	1,050,000	952,924	97,076	
会 報 発 行 費	1,400,000	1,531,600	△ 131,600	
印 刷 費	650,000	633,880	16,120	
発 送 費	700,000	710,120	△ 10,120	
編 集 費	50,000	187,600	△ 137,600	
役員理事会費等	400,000	350,593	49,407	
旅 費 ・ 交 通 費	70,000	60,400	9,600	
銀行郵便局振込費	60,000	24,835	35,165	
コンビニ振込費等	20,000	141,337	△ 121,337	
事 務 費 ・ 雜 費	260,000	259,248	752	
通 信 費	50,000	42,507	7,493	
慶 弔 費	0	0	0	
予 備 費	40,000	10,000	30,000	
計	3,550,000	3,445,492	104,508	
次 期 繰 越 金	3,620,606	3,600,606	20,000	
合 計	7,170,606	7,046,098	124,508	

昭和48年 野球部準優勝グラフティー

決勝	準決勝	4回戦	3回戦	2回戦
広島商	静岡	今治西	静岡	銚子商
岡	岡	岡	岡	商
2	0	0	0	0
0	0	0	1	0
0	0	0	2	0
0	0	0	1	1
0	0	0	0	0
0	1	0	0	0
0	0	0	2	0
0	1	0	0	0
1	0	0	1	1
3	2	0	6	3
				5
				0
				7
				10
				0

甲子園の戦績



栄光の準優勝メンバー

合計 385 128 .332 74

投 手		成 績		安打率			
		試 回	点	防御率	三	四	安
秋本	昌宏	12	92 1/3	10	0.97	45	39 56
遠藤	一仁	3	8	0	0.00	4	2 4
望月	邦夫	1	1	0	0.00	1	0 0
計		12	101 1/3	10	0.89	50	41 60

〔やつたん〕 九回裏1死満塁、広島商は大利が三塁前にスリーパント・スクイズを決



甲子園決勝戦を伝える新聞記事



準優勝パレード



初戦の長崎海星戦における植松選手のホームラン

ユネスコ（国連教育科学文化機関）のパリ本部で長く勤務、活躍し、東アジア代表として北京事務所長を6年半勤めた青島泰之氏に、国連志望の動機や豊富な国際的体験などを率直に語つていただいた。

（聞き手）八牧浩行

略歴

1947生まれ、静岡高校卒業、東京大学工学部土木工学科を卒業し、スイス・ローザンヌ連邦工科大学大学院へ留学。75年日本鋼管（現JFE）入社。76年東京大学から工学博士号。82年ユネスコパリ本部に就職、事業予算管理課長、奨学金課長、科学技術計画官などを歴任。97年ユネスコ・ジャカルタ事務所所長代理、2001年ユネスコ・東アジア代表・北京事務所長。08年静岡市教育委員。2010年日本技術者教育認定機構・専務理事・事務局長就任。現在に至る。



青島 泰之
元ユネスコ東アジア代表

— 国連のイメージは紛争の解決とか各地域の治安、生活状況の向上など、現場での活動が目立ちますか？

ユニセフ（国際連合児童基金）や難民高等弁務官事務所は現場が主体で、今日（こんにち）の問題が主対象。ユネスコはシンクタンクです。世界遺産の制度やルール創りを40年前に世界に向けて発信したのがそのいい例。

— 国連の本部で長く勤務、活躍し、東アジア代表として北京事務所長を6年半勤めた青島泰之氏に、国連志望の動機や豊富な国際的体験などを率直に語つていただいた。

— 大企業のトップと話すと大

世界で活躍する岳南健児（第4回）

クラークの「少年よ大志を抱け」にあこがれ国連職員に

元ユネスコ東アジア代表 青島 泰之（82期）

静高時代の思い出は「仮装行列」優勝

— この道に進んだきっかけは？

小学校の時、札幌農学校のクラーク先生の「少年よ、大志を抱け」に感動し、いつか自分は発展途上国で「クラーク先生」になりたいと思った。中学、高校に進んで進路を考えた時、ゼネラリストである外交官という

選択肢もあったが、途上国では教育、農業、土木、行政の4分野が重要であると思い、大学では土木工学を学んだ。

— クラーク先生の話は忘れないかった？

32歳の時、「国連が職員募集」という新聞記事を読んだ。家内が「あなたの人生の目標は何だったの？」と思い出させてくれた。国連の面接を受け、2年後にユネスコに採用になった。7年の会社勤めは、大変楽しく、嫌にならなかったから転職したのではない。小学校の時に描いた「発展途上国に立ちたい」との考えが甦り、新たな道を選択した。

識字の問題もそうです。ほとんどの職員がパリ本部におり、世界的枠組み作りをするのがメインの仕事です。パリには15年もいました。

僕は「参考本部より連隊勤務」

をやりたい方なので常々現場に出たいと思っていたが、現場（地方）と本部の間の人事異動がほとんどなかつた。皆、地方に行きたがらない。一度地方に行きたがらぬ。一度地方に出るとパリに帰って来られなくなると、ポストも少ないから人事異動を積極的にやろうという習慣がなかつた。人事部門に期待していたら永久に現場に出られないと思ったから、ジャカルタ事務所にいた同世代の人

と、「数年後に、お互いに手を挙げてバーチャルしない？」と持ちかけた。うまくアピールして上司を納得させればいいと考えた。4年後に、上司に切り出した。4年後には、面白いことやるな。よし分かった」と言ってくれた。この後の北京勤務も希望した。北京事務所は中国、モンゴル、北朝鮮、韓国、日本を管轄する東アジアの代表事務所で、所長を務め6年半いました。着任時の事務所職員は28人だったが、退職するときは40人にもなつた。新人の採用、体制作り、新事業の開拓方針など所長の仕事です。

彼等に縦横に働いてもらつて、面白い仕事をたくさんやつた。特に、少数民族の文化、教育の分野は面白かった。自分の専門（自然科学）でなかつたのでそれなりの勉強もした。

ユネスコの地域事務所の主な仕事は途上国の人材育成。文化財保護なら、ユネスコが保存、修理をするのではなく、途上国が自力で保存、修理できるよう

来るような法律の整備も手伝う。ハードよりソフトですね。

— 日本はやはりアジア諸国と仲良くしていかなければいけないですね。

日本の長い歴史の中でも日本が中国より優勢だったのは短い何十年の話ですね。これからどうなるか分からぬ。日本は地盤沈下し、中国は上がりしていくようです。長い歴史観のなかで日中関係を見なくてはいけない。そして、アジア全体の平和と発展を目指さなければいけない。私が嫌いなのはアジテイターだ。政治家と評論家にいる。勇ましいけれど偏狭なナショナリズムを煽つて、平和共存や経済相互発展という国際的な大原則を阻害している。

半は「グローバル化が進む中でわれわれにとって国境なんてないようなものです」という考え方ですね。少子高齢化とデフレで衰退著しい日本国内だけで商売していたら負けてしまうと。企業は生き残りを賭けて何でもする。工場の海外移転、優秀な外国人の採用。しかし、日本の製造業の空洞化や日本の若者の雇用までは考えてくれない。

— まず情報を通じてわだかまりや偏狭なナショナリズムをなくすよう努力しなければなりませんね。

互いに行き来することが重要です。内政がうまくいかない時、為政者は外に敵をつくって中を固める傾向にある。大きな敗戦の痛手を被った日本は今後おかしくならないようにならなければなりません。軍事力増強だけで国防を考えるのは愚作。近隣の国と仲良くなるのが最も確実な費用の少ない国防です。

— 北京駐在としての6年半というものは中国の高度成長時代ですね。フートン（胡同＝北京の旧住宅地域）は下町情緒豊かですが、再開発について、ユネスコとして中国当局に注文を付けたようですね。

僕は北京市長に「胡同撤去と再開発問題で話をしたい」と会見を申し込んだ。なかなか実現しなかった。欧米の大天使らも随分とアプローチしたが、誰も会えなかつた。市長との会見は1時間半と言われ、実現した。しかし、市長が1時間半しゃべつて、僕にしゃべらせない。「はい、これで会見は終わり」と言っていたので、「あなただけがこんなに長くしゃべつた。これからわたしの話を1時間聞け！」と言つて、強引に会見時間を延ばした。

僕は「胡同を撤去して再開発をするについて、北京市には住民参加という意識がない」と言つた。結局けんか別れだつたが、「共産党独裁の國でよく言つたな」と北京在住の大天使らに言われた。ところがこの市長は、サーズ（SARS＝新型肺炎）の対応の失敗で、僕と会見した3日後市がパーティを開いた。新市長は王さんという人で、しっかりとやって、今、副首相になつていやる。北京では共産党書記が一番偉い。北京オリンピック組織委員長をやつた李書記が会いたいという。行つたらまず報道関係者の方で握手をする写真を撮られて、「胡同の話は聞いている。

いろいろ助言してもらいたい」と言われた。

農村から都市に出稼ぎに来てゐる出稼ぎ（国内移民）の子供の就学権利が損なわれている。戸籍によつて人民を土地に縛る法律は撤廃されたものの、子供は北京の公立学校に行けない。法律でそのような差別はいけないとうたつていて、入学は拒否しないが、本来無料であるべき授業料を色々な名目で有料にする。出稼ぎの親が払える金額ではない。ボランティアが集まつて子供のための学校をつくつて協力している。北京市教育委員会が、「これらの学校は世界基準から見て質が劣つてゐるから」との理由で学校を閉鎖した。僕は北京市の教育長に手紙を書いた。「この件で意見交換をしたい」と。メンツを重んじる中國当局に対し、「閉校した学校を再開しろ」という風に直截的に言つてはいけない。結局、意見交換なしで、学校は再開された。「不適格だけど続ける」と。ユネスコが何か言うとインパクトがあり、僕はそれをやつた。

— 国連機関の代表とは言え、勇気は要りました。中国で共产党幹部にたて突いたら国外追放だから。いろんな連中と飲んで話をして信頼感を作る必要もあります。幸い、僕はお酒が強く、茅台酒、紹興酒でずいぶん乾杯をした。退職後、中国要人が「青島は厳しかつたけど本当のことと言つてくれてよかつた」とてもフェアだった」と言つてくれて。中国を批判することが目的ではないからね。いい国になつてももらいたいと思つて仕事をしましたね。

— 「一〇〇年に一度の世界大恐慌」といわれたリーマンショックでは中国がすぐに50兆円分を拠出して世界を救つた形です。民主国家は物事を迅速に決められない。日本は首相が年に一度のベースで変わつていて。仮もサルコジ大統領が負けたが米国でもオバマ大統領は盤石ではない。ドイツでは少し危険かもしれないが、歐米的な民主主義に疑問を呈する「体制の研究」まで出始めた。

中国はアジア危機の時に、グローバリゼーションに乗らなかつたから守られた。日本は小泉政権の規制緩和が裏目に出で一番痛い目にあつたと思う。グローバル化の名目で米国の要求を次々に受け入れ、日本古來の良さを捨ててしまつて。世界のスタンダードなんてないと思います。欧米の人権はかと思います。欧米の人権はある」と言つてゐる。欧米イコール「世界」ではないです。人権にも多様な考え方が必要です。インドネシアに赴任してい代の話を聞いてオランダはイン

情報を交換し合い、より豊かで充実した職業人として生きるための会です。この会が回を重ねて、晴耕雨読も結構ですが、特にリタイア組は後輩たちのためにおおいに参加したいものです。人間は二度死ぬといいます。一度は「肉体」の死。二度は友人たちの「記憶」から消えた時…

…皆さん、同窓会に積極的に参加し、おおいに旧交を温め、友人・知己を増やし、友人たちの脳裏に我が事のあれこれを焼き付けましょう。

125年記念誌発行を

第2回 活動の柱に

82期 石川 倫男

盛年 重ねて来たらず
歳月 人を待たず

陶 淵 明

平成23年11月21日、第2回開催しました。

東静高柔道部OB会総会を中央大学記念館1Fブリオールで開催しました。

今年10月1日（土）静高柔道場にて静高柔道部創部120周年記念会を静高柔道部OB会として大成功の内に終了させる事が出来ました。これは柔道部OBのみならず、教職員を含めた皆様の協力の賜物と心よりお礼申し上げます。

120周年記念会を成功させるためにはOBの団結が大切、と言ふ事で名簿の見直しを行いました。

ブラジルに来た時は、どうぞお立ち寄りを！

近藤君を囲む会 64期在京同窓会有志盛り上がる

3月24日、JR田町駅近くの会場で、64期在京同窓会有志24人が集まりました。若くして自身ブラジルに渡り、刻苦奮闘の

末、70ヘクタールの「近藤牧場」を切り開いた近藤博之君を囲む会です。

「渡伯（ブラジル）56年止まぬ我がやまと心」という題字の20ページにわたるカラーの写真帳も頂きました。

70ヘクタールというと懐かしい「駿府公園」の4倍の広さで比較の地図と説明があつて、ただただ驚きでした。

近藤君の先祖様は山梨の人で、その地は昔から行商や海外展開のさかんな地域のようで、お父様の兄弟10人の内、5人が海外に出て行かれていたということです。戦争中に米軍の放送で、「東京ローズ」で話題になつた

女性もご親族の中においてのことです。

彼は八人兄弟の一番下で、ご長男の兄上にとても可愛いがられたとのことでしたが、その兄上が二年生の時に病氣で亡くなられ、そのお兄様の影響を特に大きく受けられたようです。

早稲田大学在学中、図書館で読んだ大隈重信公の本で「日本」の若者は海外に飛躍せよ」といふ言葉に打たれたとの事も大きな契機のようでした。

そして二十六才、青雲の志を抱いてブラジルに渡り、農場経営や出稼ぎなどの難難辛苦やご家族のご不幸にもめげず、頑張りに頑張って、サンパウロ近郷の荒廃した農場の活性化から始めて大きな成功を勝ち取られました。現在、NGOブラジル人労働者支援センターなどとも連

携し、在ブラジルの同胞の方々やこれからブラジルに来られる人々、また日本で働くブラジル人の方々などの間で幅広い活動を展開されて来ておられます。

「囲む会」は近藤君を中心にして、中学在学頃の話から始まって、尽きることのない歓談が続

き、最後に校歌「岳南健児」の合唱で閉会しました。



その後は懇親会に移り、120周年記念会や石山喬先輩（78期）の藍綬褒章受章の話等色々な話題に花が咲き、お開きとなりました。

た。この結果関東地区でも50名の所在が明らかになり、今回は11名のOBが総会に参加してくれました。特に99期、102期、115期と若い人の参加は今後に期待できる事です。

総会では静高柔道部復活のための今後は、静岡のOB会や教職員と協力し、中学生を対象とした静高杯柔道大会の開催と、125周年誌の発行を活動の柱にして進める事にしました。

年の今後は、静岡のOB会や教職員と協力し、中学生を対象とした静高杯柔道大会の開催と、125周年誌の発行を活動の柱にして進める事にしました。



ハモバンOB関東練習会 定期的に開催

4月7日（土）午後、王子駅前・北トピアで静高ハーモニカバンドOB会「東京バンド」の練習会が開かれました。20人近くが集まり、10月6日（土）の静岡大会での演奏曲を一通り演奏しました。



▶ハモバン82期の会

印高会ゴルフクラブ 会員募集

親睦ゴルフ大会を年二回開催いたしておりますので、ゴルフ愛好家の入会を募っております。

開催予定案内を後日、差し上げますので、入会希望の方は、氏名、卒業期、〒番号、住所、TEL、FAX、E-mailアドレスなどをご記入の上、下記へご連絡をお願い致します。

世話人 山梨 由記（73期）

FAX 047-478-6907

E-mail king1-yamanashi@kingsmile.co.jp

今年も 「江の島会」開催！

同窓生の皆さん、大いに語り合いましょう！

日時 9月30日（日）12時～

場所 江の島「恵比寿屋」

会費 0466-22-4015

六千円

ご連絡は江の島会会長

黒田秀幸（67期）まで
045-261-5181

の後、飛鳥山公園の桜を愛で、蕎麦屋で歓談しました。練習会は2～3カ月に一度開かれ、次回は6月30日（土）に北トピアで12時45分からです。3月18日、静高ハモバン82期の16人が新横浜に集合しました。

長い間、音信不通だった岩崎和雄君が米国から一時帰国したの機に、彼をダシにして宴会が開催されました。青春のひと時、ベートーベン「運命」などを奏でた思い出やその後の人生模様を聞くまで語り合いました。

編 集 後 記

◇7月6日の総会・懇親会のメインイベントは、昭和48年の甲子園夏の大会準優勝チームによる座談会です。今年はこの年3年生だった90期が総会幹事。深沢英昭さんら多くの同期生が熱い思いで取り組んでいます。この会報1面と3面での懐かしい写真や資料などを集めてくださいました。

48年夏、私も仕事をさぼって広島商との決勝戦に駆けつけました。最後はスクイズで敗れました。

今年夏の野球部は、昨年に続く2年連続甲子園出場があります。今春の静岡県大会で優勝しました。

今年夏の静岡野球部は、昨年に続く2年連続甲子園出場があります。今春の静岡県大会で優勝しました。

今年夏の静岡野球部は、昨年に続く2年連続甲子園出場があります。今春の静岡県大会で優勝しました。

今年夏の静岡野球部は、昨年に続く2年連続甲子園出場があります。今春の静岡県大会で優勝しました。

たが「史上最高の決勝戦だった」と今だに語り継がれています。

「有意義な同窓生出会いの場」になるよう、今後の発展と皆様のご出席、ご協力を願いいたします。静中静高同窓生は地元

昭和35年の準優勝チームも脳でた思い出やその後の人生模様裏に焼き付いており、この時の模様は8年前の総会懇談会で、主将だった石山建一さん（77期）が講演していただき、その熱弁に会場は感動の渦に包まれました。

元早大・全日本代表監督）に講演していただき、その熱弁に会場は感動の渦に包まれました。

今年の総会・懇親会では野島監督や植松選手はじめメンバー6人も登壇し、当時の映像なども映されますので、さらに貴重な機会となることでしょう。是非ともお誘いあわせの上、ご出席ください。

◇長い間、この会報編集人として力を尽くしてくれた村松貴彦さん（77期）に代わって、当面編集人代行を務めることになりました。村松さんのおかげで素晴らしい会報に発展したこと深深地感謝します。

◇静中・静高関東同窓会」と検索してください（も石川嘉和担当（87期）をはじめとする多くの方々のご協力で、さらに充実頻繁に更新され、最新情報、同窓生主催イベントなどが満載されています。この会報と併せてご活用ください。

◇関東同窓会は会員の会費で運営されております。同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願いします（同封されている郵便局振込用紙をご使用ください）。

静中・静高125周年記念を販売します。明治11年の静中の時代より平成14年の静高までの歴史が記載されています。

I・II・III巻セットで初期販売価格は一万円でしたが三千円（送料無料）にて14部販売します。申込みは、関東同窓会事務局まで。

静中・静高125周年記念誌を 特価で販売



静中静高誌 I ~ III

平成二十三年度 静中・静高関東同窓会会費拠出者一覧表

ご協力ありがとうございます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------------|-------|-----------|-------------|------------|---|---|-------|---|--|-------------------------------|---|--|---|--|---|--|---|---|------------------------------------|---|--|---|---|------------------------------------|---|--|----|----|----|
| 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 |
| 浅賀 博澄 | 林 盛次 | 木宮 高彦、宗像 醇 | 大畑 忠夫 | 宗四朗、小沢 忠樹 | 岩井 平一郎、酒井 博 | 島村 悟、須山 静夫 | 大塚 恒、山田 一夫、信夫 邦三、清水 汪、川田 昭、菅原 操、内田 武二、田澤 義彦、青山 勇、小花 敏郎、増田 真一、山本 俊夫、勝呂 清、朝比奈 正三、狩野 和男、高橋 裕、福地 疊、青木 豊 | 内藤 敏夫、山本 正三、石関 忠雄、笠間 達男、堤 崇、山本 雅之助、原田 龍二、鈴木 光男、谷 龍治、酒井 美高、益田 清聞、時田 正康、原 善三郎、井田 淳、上杉 重吉、小林 金次、大石 次男、高村 岳史、稻森 慎一、山崎 和夫、清水 照彦、西田 駿之介、諸田 實、川手 生巳也 | 濱田 隆郎 | 馬場 泰男、杉本 哲、猿谷 秀雄、野沢 正憲、塚本 光彦、岩本 吉雄、佐野 旭、栗田 行雄、永田 進一、山本 和彦、鈴木 明郎、新井 彰、松永 滋、田中 瞏、増田 政雄、益頭 尚文、遠藤 栄 | 瀬尾 章、山梨 裕司、菊田 聰裕、馬越 峻、曾根 錦吾、村越 立彦、久保 泰夫、藤原 朝則、石川 刃二、内田 幸雄、斎藤 進、牧田 祐治、山下 裕一、大坪 信之 | 岡村 英二郎、朝倉 勇、向井 久和、山川 静夫、丸山 英久 | 岡村 英二郎、朝倉 勇、向井 久和、山川 静夫、朝比奈 正三、大森 恵吉、児島 英男、瀧川 博、丸山 英久 | 瀬堂川 徹、塚本 浩司、岩瀬 順郊、大石 康博、吉崎 英輔、秋山 和也、杉山 和子、鈴木 昭夫、鈴木 俊彦、野中 省三、江崎 善三郎、雨宮 明生、栗田 瑞夫、増田 悅男、松下 司郎、大川 庄治、荒谷 じつ子、市原 卓、植田 勇夫、宇田 貞子、鈴木 国功、酒井 定子、小林 功典 | 倉田 聰、谷川 治弘、高林 彰夫、堀 久夫、植村 守代、奥津 きみ子、天野 高広、谷川 治弘、土谷 尚子、山下 泉 | 白石 通子、中村 龍二、石山 博、久沢 正雄、仁科 俊介、関 哲男、清 智、有田 久、片山 智司、富田 三樹、宮代 省一、山田 恒男、小池 啓治、前田 利彦、山本 雅司、浦田 彰、山田 卓夫、西野 章、今村 清彦、美石 欣哉、富野 壽、下 薫、伊藤 勝、諷訪 逸郎、石川 宏、後藤 弘枝、奥村 銳一郎、長倉 真一、片山 嘉博、仁藤 宏次、夏目 雅之、村手 正之、櫻井 正之、佐藤 修一朗、清水 雅彦、竹内 正和、種茂 雅之、深田 均、山口 公子 | 栗田 収司、森 正毅、石山 建一、山内 幸太郎、栗田 義之、飯島 千代美、三浦 位通、佐藤 昌男、石橋 三洋、大岩 蓮、仁科 光司、野方 重人、須川 薫雄、三浦 昭彦、小長井 奎幸、杉山 武、岩田 守正、安達 宣廊、柴田 哲男、清水 雅尚、中川 素子、川島 宏祥、岩崎 敏宏、中山 禮吉、石間 啓一、加藤 雅久、勝間田 正喜、高谷 信之、縣 保佑、伊藤 洋之、安本 恭介、石田 久徳、石山 喬、奥山 和子、白木 桃子、垣生 尚敬、山本 勇夫、今村 史子、白木 桃子、鎌田 勇、上田 尚亮、大石 恵則、小川 郷太郎、井出 雅子、菅野 佳男、中山 英子、山本 勝 | 飯田 早苗、吉田 和悦、鈴木 勝、池谷 吉人、風戸 学、吉野 卓史、岡田 奎司、秋山 幹男、柴田 裕、上出 和子、飯田 早苗、小木 哲朗、角谷 勝彦、加藤 壱康、深沢 直之、長島 幸太郎、本多 英一、川島 正和、岡部 政之、伊井 和良、 | 萩原 茂春、田中 佐知子、藤原 經史、花本 栄二、稲葉 一宇、望月 保、井出 宏嗣、角谷 治子、佐藤 鐘司 | 白坂 徳雄、縣 勇平、川面 忠男、笛尾 光彦、安達 瞬雄、今田 肇、大島 崇志、望月 純蔵、井出 辰一郎、稻葉 元夫、勝亦 正安、小林 錢一、佐藤 修二、柳沢 弥太郎、望月 利人 | 田口 紘一、大石 直行、北村 修、国保 能彦、塚本 平二、児島 三郎 | 栗田 収司、森 正毅、石山 建一、山内 幸太郎、栗田 義之、飯島 千代美、三浦 位通、佐藤 昌男、石橋 三洋、大岩 蓮、仁科 光司、野方 重人、須川 薫雄、三浦 昭彦、小長井 奎幸、杉山 武、岩田 守正、安達 宣廊、柴田 哲男、清水 雅尚、中川 素子、川島 宏祥、岩崎 敏宏、中山 禮吉、石間 啓一、加藤 雅久、勝間田 正喜、高谷 信之、縣 保佑、伊藤 洋之、安本 恭介、石田 久徳、石山 喬、奥山 和子、白木 桃子、垣生 尚敬、山本 勇夫、今村 史子、白木 桃子、鎌田 勇、上田 尚亮、大石 恵則、小川 郷太郎、井出 雅子、菅野 佳男、中山 英子、山本 勝 | 飯田 早苗、吉田 和悦、鈴木 勝、池谷 吉人、風戸 学、吉野 卓史、岡田 奎司、秋山 幹男、柴田 裕、上出 和子、飯田 早苗、小木 哲朗、角谷 勝彦、加藤 壱康、深沢 直之、長島 幸太郎、本多 英一、川島 正和、岡部 政之、伊井 和良、 | 萩原 茂春、田中 佐知子、藤原 經史、花本 栄二、稲葉 一宇、望月 保、井出 宏嗣、角谷 治子、佐藤 鐘司 | 白坂 徳雄、縣 勇平、川面 忠男、笛尾 光彦、安達 瞬雄、今田 肇、大島 崇志、望月 純蔵、井出 辰一郎、稻葉 元夫、勝亦 正安、小林 錢一、佐藤 修二、柳沢 弥太郎、望月 利人 | 田口 紘一、大石 直行、北村 修、国保 能彦、塚本 平二、児島 三郎 | 栗田 収司、森 正毅、石山 建一、山内 幸太郎、栗田 義之、飯島 千代美、三浦 位通、佐藤 昌男、石橋 三洋、大岩 蓮、仁科 光司、野方 重人、須川 薫雄、三浦 昭彦、小長井 奎幸、杉山 武、岩田 守正、安達 宣廊、柴田 哲男、清水 雅尚、中川 素子、川島 宏祥、岩崎 敏宏、中山 禮吉、石間 啓一、加藤 雅久、勝間田 正喜、高谷 信之、縣 保佑、伊藤 洋之、安本 恭介、石田 久徳、石山 喬、奥山 和子、白木 桃子、垣生 尚敬、山本 勇夫、今村 史子、白木 桃子、鎌田 勇、上田 尚亮、大石 恵則、小川 郷太郎、井出 雅子、菅野 佳男、中山 英子、山本 勝 | 飯田 早苗、吉田 和悦、鈴木 勝、池谷 吉人、風戸 学、吉野 卓史、岡田 奎司、秋山 幹男、柴田 裕、上出 和子、飯田 早苗、小木 哲朗、角谷 勝彦、加藤 壱康、深沢 直之、長島 幸太郎、本多 英一、川島 正和、岡部 政之、伊井 和良、 | | | |

○各期ごとに幹事役を決めて同窓会・
同期会の活発化を図っています。
○幹事未定の期は至急選出して
連絡してください。

82	太田 良憲子、仲谷 博明、丹羽 正雄、 宮崎 太加志、森下 鉄夫
83	桜田 照男、狩野 行雄、金子 恵子、石部 憲治、 青木 式、伊沢 佐知子、伊東 淳、石川 倫男、 河合 正弘、多賀谷 秀保、村上 和男、八牧 浩行、 細川 晃、石川 康宏、大石 正幸、佐伯 好紀、 荒牧 喬平、河合 正弘、富坂 修、執行 羊子、 池田 整、岩崎 年史、大村 多聞、篠原 温、 田畑 秀典、平井 俊樹、石津 保彦、堀内 淳司、 富永 武則、大島 高志、松永 吉隆、中村 豊、 鈴木 秀孝、西野 直樹、久野 淑子、久野 泰可、 鈴木 秀孝、金田 幸造、平野 隆史、増井 敬、 大石 高志、北山 幸治、野呂 克実、 伊東 成師
84	小澤 治、塩谷 立、吉野 文江、水越 伸昭、 杉山 順一、山田 孝夫
85	今村 行雄、遠藤 とも子、望月 敬生、池田 幸司、 竹田 徹、望月 光、増井 喜一郎、杉山 由紀子、 野口 洋亮、野口 ひろみ、八牧 暢行、近藤 孝邦、 安倍 敏陽、石川 嘉和、沢井 良輔、高橋 宏、 矢部 徹
86	杉浦 哲、青山 隆一、梅村 博之、成岡 和美、 竹渡 洋行、田村 勉
87	山田 昌治、五月女 久枝、大石 裕、片山 秀、 江間 彰夫、大村 康一、木村 幹夫、鈴木 攻、 田中 育恵
88	塩川 治郎、鳥巣 穀、坪内 和人、小長井 一男、 石渡 洋行、田村 勉
90	深沢 英昭、栗山 伸一、森田 悅三、鈴木 正司、 小川 修史、石村 安紀子、織畑 路代、本田 智美、 米澤 宣行、岩崎 健一、松永 陽子、森田 悅三、 小橋 友規子、藤嶋 善彦、伴野 正厚、栗山 雅之、 土崎 弘子
91	田村 真弓、永田 俊介、服部 泰子
92	青木 洋、岡村 幸彦
93	龜山 晴信、山村 豪、松永 啓、松野 敦子、 野中 保晃、青島 正剛、照井 徹、田野 茂、 小川 志郎
94	岡部 正明、堀川 玲子、永江 総宜、牛見 豊、 太田 洋行
95	海野 仁志、中尾 安志、青木 正樹、青木 伸、 杉本 耕一
96	吉田 史、大石 健二
98	竹中 教明、鈴木 芳信、山下 暢久、大石 嘉則
99	五十嵐 寧、望月 寛隆、太田 裕弥
100	夏目 幸一郎、穴澤 敦子
101	石原 節子、田村 晋一、川辺 誠
102	萩原 さほり、井上 薫、武部 奈都美
104	関東同窓会会費 一年間 3000円
89	北村 佳久、北村 美佐子、青島 信一、浅羽 昌之、 池田 裕之、上田 博司、大橋 正信、笠松 一久、 加茂 真司、後藤 裕江、小橋 誠治、近藤 洋司、 篠原 詩子、柴田 真之、下山 松太郎、杉田 達哉、 杉田 みどり、鳥巣 修、新村 暢宏、林 茂、 船越 真弓、堀 弘明、牧野 尚夫、渡辺 芳治、 平川 寿子、西谷 昭、多々良 勝仁、岩ヶ谷 研司、 内山 元雄、海野 秀之

関東同窓会会費
一年間 3000円
関東同窓会の会計年度は、4月1日より3月31日までのものです。静岡本部は10月1日からで、異なりますのでご注意ください。

注!!
コンビニでの会費納入はできません。
同封の郵便局納入用紙で行って下さい。

石 (墓、石碑)のことなら (株)イシフク

望月 威男 (77期)
熊野 雄二郎 (84期)
望月 茂樹 (101期)
望月 秀康 (107期)

〒421-1224 静岡市葵区飯間 71

TEL 054-278-6610

関東の人に紹介したい良い環境

八王子 東京靈園

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町

TEL 0426-61-6734

○お墓、石碑、建材、石のことなら気軽に相談ください。

大江 真理子
久保 大作
瀧徹也
鳥居 大祐
辻沙有里
渋谷 泰子
北澤 卓思

鈴与株式会社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1

TEL 054 (354) 3015 (秘書室)

京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
ビリーヴ大森5F
TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号

TEL 054 (262) 1111(代)

東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

株式会社 富士越化成

代表取締役会長 野澤正憲 (64期)

〒140-0004 東京都品川区南品川2-17-11

TEL 03 (5783) 3841

FAX 03 (5783) 3755

お茶の心を伝える 愛国製茶(株)

代表取締役会長 馬場泰男 (64期)

本社

東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)

高田馬場店

東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

都心のオアシス・ゴルフ練習場 (株) 公和ゴルフセンター

代表取締役社長 山中博司 (73期)

〒162-0056 東京都新宿区若松町28番5号

大江戸線・若松河田駅隣り

TEL 03-3202-6558

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

代表取締役社長・主筆 八牧浩行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館905

TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3

蔵下ビル6F

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820

昼2時より夜11時まで診療

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 畠井名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分

TEL 0120-376-480

FAX 03-3710-8847

〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巣修税理士事務所

税理士 鳥巣 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17

TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848

E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

おくすりのこと、健康のこと、相談できる調剤薬局
全国195店舗のネットワーク

株式会社 アイセイ薬局

医療・福祉・介護で日本を笑顔に

代表取締役 岡村幸彦 (93期、応援指導部)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2

TEL 03-3240-0222 FAX 03-6212-4193

<http://www.aisei.co.jp>